

ダントツちょうどいいコンパクトミニバン

新型フリード誕生

(3列仕様)

プラス

フリード+ (2列仕様)



コンパクトミニバンのジャンルを切り開いたホンダ・フリードが約8年ぶりのフルモデルチェンジを受け、2代目に当たるモデルが登場。3列シートを備えるフリードに加え、2列シートでラゲッジルームの有効活用が可能なモデルには新たにフリード+ (プラス) の名が与えられた。従来のフリードスパイクに代わるモデルだが、独自の低床構造によりラゲッジの多用途性を高めたところがポイントだ。フリード／フリード+ともに取り回しやすいボディサイズはそのままに室内スペースをグンと広げ、さらにパワートレインの改良でミニバントップクラスの燃費性能を実現するなど、あらゆる部分が進化。先進安全機能であるHonda SENSINGも採用し、全方位の安全性能を確保して「ダントツちょうどいいコンパクトミニバン」となった。いつでも、どこでも、誰でも、その素晴らしさを実感できるクルマに仕上がっている。



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

ホンダ
新型フリード
フリード+
特集号



8つの安全運転支援、
Honda SENSING (タイプ別設定)

ミニバントップクラスの
27.2 km/ℓ

JC08モード燃費消費率 HYBRID B (FF) ほか

文／田畑 修(モータージャーナリスト) 写真／奥隅圭之

「ママを笑顔に」「自分らしいクルマにする!」

より利便性を高め、室内スペースを多彩に使える純正アクセサリも数多く用意されている。車内の居心地が一段とよくなるインテリアグッズや陽射しをさえぎるロールカーテン、小さい子供の乗り降りをサポートしてくれるオートサイドステップなど「ママを笑顔に」してくれるアイテムが目白押し。さらに車中泊に最適なラゲッジクッションマットやボルトオンで装着できるスライドレール、ラゲッジボックス(ともにフリード+用)など、思わず欲しくなるアイテムばかり。個性を演出できる外装ドレスアップパーツも用意され、その質感や仕上げのよさに加え、違和感なくフィットする造形やカラーコーディネイトは純正アクセサリならではの。選ぶ楽しさも存分に味わえるはずだ。



革調シートカバー



オートサイドステップ



ねこちゃんリッド

福祉車両(車いす仕様車など)ラインアップ

フリード+の低床構造を生かした福祉車両にも注目したい。車体設計の段階から車いすでの乗り込みを考えた車いす仕様車は、なだらかな内蔵式スロープで楽に乗車・降車でき、車いすスペース専用のヒーターダクトも設けるなど快適な移動空間を提供してくれる。また、車いすを積んでいないときは内蔵式

スロープを倒して通常のラゲッジスペースとして使えるなど、利便性も考えられている。車いす仕様車以外にも開口部が広がったスライドドアを生かしたサイドリフトアップシート車や、助手席リフトアップシート車も用意され、用途に応じたバリアフリー車両を選ぶことができる。



主要諸元表		FREED												FREED +											
		HYBRID B		HYBRID G Honda SENSING		HYBRID EX	B		G		G Honda SENSING		HYBRID B	HYBRID G Honda SENSING		HYBRID EX	B	G		G Honda SENSING					
駆動方式		FF	4WD	FF		4WD	FF	FF	4WD	FF		4WD	FF	4WD	FF	FF	4WD	FF	FF	4WD	FF	4WD			
乗車定員(名)		6		6		7	6		7		6		7	6		5									
トランスミッション		7速オートマチック						無段変速オートマチック(トルクコンバーター付)						7速オートマチック				無段変速オートマチック(トルクコンバーター付)							
寸法・重量	全長(mm)	4,265												4,295		4,265		4,295		4,265		4,295		4,265	
	全幅(mm)													1,695											
	全高(mm)	1,710	1,735	1,710		1,735	1,710		1,735	1,710		1,735	1,710		1,735	1,710		1,735	1,710		1,735				
	ホイールベース(mm)													2,740											
	トレッド前/後(mm)													1,480/1,485											
	最低地上高(mm)	135	150	135		150	135		150	135		150	135		150	135		150		135	150				
	車両重量(kg)	1,400	1,480	1,410	1,430	1,490	1,430	1,340	1,410	1,350	1,360	1,420	1,350	1,360	1,420		1,490	1,430	1,350	1,360	1,420	1,360	1,420		
室内寸法 長×幅×高(mm)		3,045×1,455×1,275						3,045×1,455×1,285						2,310×1,455×1,275						2,310×1,455×1,285					
エンジン	型式	LEB-H1						L15B						LEB-H1						L15B					
	総排気量(ℓ)	1.496																							
	種類	DOHC 水冷直列4気筒横置																							
	最高出力(ネット)(kW<PS>/rpm)	81(110)/6,000						96(131)/6,600						81(110)/6,000						96(131)/6,600					
	最大トルク(ネット)(N・m<kgf・m>/rpm)	134(13.7)/5,000						155(15.8)/4,600						134(13.7)/5,000						155(15.8)/4,600					
使用燃料種類		無鉛レギュラーガソリン																							
燃料タンク容量(ℓ)		36	40	36		40	36	40	36		40	36	40	36		40	36		40	36	40				
最小回転半径(m)		5.2																							
燃料消費率 JC08 モード燃費(km/ℓ)		27.2	25.2	27.2	26.6	25.2	26.6	19.0	17.6	19.0		17.6	19.0		17.6	27.2		25.2	26.6	19.0		17.6	19.0	17.6	
電動機 (モーター)	型式/種類	H1/交流同期電動機						—						H1/交流同期電動機						—					
	最高出力(kW<PS>)	22(29.5)/1,313-2,000						—						22(29.5)/1,313-2,000						—					
	最大トルク(N・m<kgf・m>)	160(16.3)/0-1,313						—						160(16.3)/0-1,313						—					
動力用主電池種類/個数		リチウムイオン電池/48						—						リチウムイオン電池/48						—					
ステアリング形式		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)																							
主ブレーキ 前/後		油圧式ベンチレーテッドディスク/[ハイブリッド車]油圧式ディスク [ガソリン車]油圧式リーディング・トレーリング																							
サスペンション 前/後		マクファーソン式/[FF車]車軸式 [4WD車]ド・ディオン式																							
タイヤサイズ		185/65R15 88S																							

※燃料消費率は定められた試験条件での値です。使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)、整備状況(タイヤの空気圧等)に応じて値は異なります。
※メーカーオプションの装着により車両重量が変更となる場合があります。その他、詳しくは販売店にお問い合わせください。



フリード+ HYBRID EX



ソリッド・ウイング・フェイス



躍動感と機能性を融合したエクステリア (HYBRID G Honda SENSING)



大開口テールゲート

力強く安定した走りーハイブリッド 4WDも設定



1.5 ℓ アトキンソンサイクルDOHC i-VTECエンジン+モーター内蔵7速DCT

1.5 ℓ アトキンソンエンジンと電動モーターを組み合わせたハイブリッド車と、軽快な走りを見せる1.5 ℓ ガソリンエンジン車を用意。先進のSPORT HYBRID i-DCDを備えたハイブリッド車はキビキビとした走りとミニバントップクラスの低燃費を両立し、さらにコンパクトミニバン初のハイブリッド 4WDもラインアップ。専用セッティングにより雪道など滑りやすい道でも安定した走行を約束してくれる。サスペンションは多人数乗車でも快適に走れるように各部の剛性を高め、車体の低重心化と相まって「意のままにクルマが動く」「狭い道でもスイスイ走れる」といったフリードならではの走行特性をより進化させている。ブレーキやステアリングなどシャシー性能全般が進化している点も見逃せない。



キビキビ感と落ち着いた走りを両立

広い室内、多彩なシートアレンジー乗り降りラクラク

全長4265mm、全幅1695mm、ホイールベース2740mmとコンパクトボディのままながら、室内長は3045mmと先代モデルよりかなり長く、室内スペースの余裕度は大幅に向上。特にフリードの2列目シートは前後スライド量が120mmのロングスライドとなり、大柄な人でも余裕をもってくつろぐことができる。また、運転席と助手席のシート間隔を50mm広げたことで前後席間のウォークスルーがよりスムーズにこなせるようになったのも嬉しい。前席と2列目、2列目と3列目それぞれのフルフラットシート化も可能となり、ちょっとした休憩時に重宝する。一方のフリード+は2列シートの利点を存分に生かし、ラゲッジスペースの床面は先代フリードスパイクより185mmも低くなり、ゴルフバッグのタテ積みも可能なほどの荷室高を確保している。



前方視界を拡大、室内確認ミラーもー運転しやすい視界



新型フリード／フリード+は独自のフロントウィンドウ形状を採用している。ウィンドウ面を上方に広げたことで信号などの確認がしやすくなり、開放感が高まったのに加えて室内がより明るくなった印象だ。また、センター部分はルーフを残してルームミラー位置が高くなり過ぎないように配慮され、外から見ると「富士額(ふじびたい)」を思わせるデザインもアクセントが効いている。このセンター部分の室内側、ルームミラー上部には運転席からリアキャビンを見渡すことができる室内確認用ミラーが設置され、少ない視点移動で車内の状況を把握することが可能だ。さらにAピラーには大きなフロントコーナーウィンドウ(三角窓)が設けられ、斜め前方視界もしっかり確保されている。

上質なインテリアと薄型メーター

素材やシート地を吟味し、上質感を一段と高めたインテリアにも注目したい。フリードは落ち着いた雰囲気気を重視し、見ても触れても心地のいい「本物感」を追求した素材を使用。質感の高い木目調のパネルを配した内装にベージュやモカのシートカラーを合わせるなど、シックな風合いに仕立てている。一方、フリード+はハイコントラストな色使いにより「ツール感」を表現。モノトーン主体の内装色、ブラッ

ク基調のシート地などがクールかつアクティブな雰囲気感を醸し出している。インパネに目を移すとスタイリッシュな薄型メーターがワイド感を強調し、より前方に配置することで少ない視線移動ですぐに情報を確認できることに気づく。好みの照明色(6色)を選ぶことができるのも嬉しい。さらに室内各所に配されたインテリア・イルミネーションも車内の上質感を高めてくれる。



エクステリア

コンパクトミニバンながらホンダならではの「ダイナミック感」のあるスタイルが際立つフリード／フリード+。「いい顔」を目指したフロントビューは、ソリッド・ウイング・フェイスを形作るフロントグリルと目ヂカラを備えたヘッドランプが凛々しく、サイドに回ると後方に向かって高さが増すウエストラインと、多彩なキャラクターラインが躍動感を印象づける。リアスタイルは下にいくほど広がるシルエットが安定感と踏ん張り感を演出し、明確なキャラクターラインと横基調のリアコンビネーションランプのバランスもいい。ボディカラーは9色と選択肢は広い。



ブルーホライゾン・メタリック



ホワイトオーキッド・パール



マンダリンゴールド・メタリック



プレミアムディープロス・パール



シトロンドロップ



コバルトブルー・パール



ルナシルバー・メタリック



クリスタルブラック・パール



モダンスティール・メタリック

開発者の声 Engineer's Voice



本田技術研究所 四輪R&Dセンター
田辺 正さん

2列目のシートをもう少し広くして欲しいという声が多く、一方でボディサイズは大きくして欲しくないという要望も少なくありませんでした。そこで都市部の多くのユーザーの声を聞いた結果、50mmだけ全長を伸ばしましたが、室内スペースはそれ以上に広げることができましたので、ぜひ実車でその広さを体感してください。また、インテリアも、たとえば白木調パネルは木材の「導管」も再現するなど「本物感」にこだわって仕上げています。加えて運転するときの視界もかなり向上させていますので、実際に運転席に座って、その質感の高さや視界をよさを確かめていただきたいと思います。

ユーティリティと車中泊可能なフラット空間

室内スペースの拡大によりキャビンの活用範囲もぐっと広がり、フリードはシートのフラットモードの活用で状況に応じた快適空間を得ることができるようになった。一方で2列シートのフリード+はラゲッジルームの超低床化により今までなかった有効スペースを確保。2列目シートを畳んで純正オプション



のシートバックボードをセットすれば、セミダブルベットとほぼ同等のフラットスペースが得られるだけでなく、荷物などは床下に収納できるため広々とした空間で快適な車中泊を楽しむことができる。またラゲッジ左右壁面にはボルト穴が設けられ、スライドレールシステムやラゲッジフックなどをしっかり固定することも可能。さらに左右スライドドアは開口幅が広げられ、地面からのステップ高を下げたことでお年寄りや子供でも楽に乗り降りできるようになっている。



安全性能とホンダセンシング

超高張力鋼板の使用率を増やし、剛性を高めたボディがキャビンの安全性を確保すると同時に、前面、後面、側面ともに衝突エネルギーを効率的に吸収する構造を採用。万一の衝突時は生存空間を確保して乗員を守るのに加え、ボディ前部も衝撃を和らげる構造を採用して歩行者保護性能も確保。JNCAP5つ星レベルの高い安全性能を実現している。また、ホンダの先進安全支援システムであるHonda SENSING(ホンダ・センシング)搭載車も設定し、衝突軽減ブレーキや歩行者事故低減ステアリング、路外逸脱抑制機能など高い安全機能によりドライバーの安全運転を支援。長距離運転の疲労度を軽減するアダプティブクルーズコントロールなども含め高い次元での予防安全性能を確保している。

Honda独自基準による全方位安全

